



# 福岡とびうめ応援レター部

## ～福岡STUDENT-REPORTERS～



工藤 実幸乃選手

7月28日曜日、博多の森陸上競技場で女子ハンマー投げが行われました。そこで私たちは、筑豊高校の工藤実幸乃選手取材しました。酷暑の中行われた試合でしたが、とてもアツい試合が繰り広げられました。1投目はファウル、2投目は55・99メートル、3投目はファウルと進み、最終的には2投目の記録が最高記録となりました。結果、2位という成績を残しました。



筑豊高校 工藤実幸乃選手

### Q. 今日どのような想いで試合に臨まれましたか？

A. 今回は、地元でのインターハイだったので、優勝したいという気持ちで臨みました。応援スタンドでも、今まで関わってきた人たちが大勢応援に来てくれて、その声援に応えたいという想いで最後までやりきりました！！

### Q. 今日の試合が終わった後の表彰式で、3位の佐藤選手、そして1位の澤向選手と力強くハイタッチをされていましたが、どのような想いでしたか？

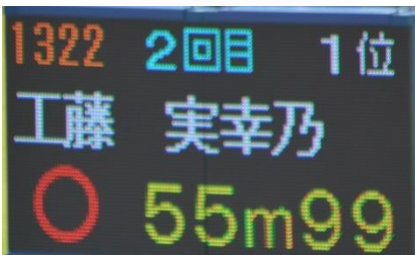
A. 元から交友があって、ちょっと仲が良かったんですけど、全員3年間「お疲れ～」って感じで、ここから続けるにしても、続けられないにしても、一旦ここで大きな大会は終わってしまうので「お疲れ～」って気持ちでした。

### Q. お互いに高めあっていたということですか？

A. 佐藤さんは同じ県で、1年生の時から抜かし、抜かされを繰り返してきて、段々お互いを高めあってきた結果がこの大会でした。

### Q. ハンマー投げのおもしろさはなんですか？

A. ハンマーと釣り合って遠心力をどれだけ使えるかが醍醐味だと思うので、フィジカルや体格に関係なく、技術が必要な競技だなと思います



快晴の中行われたこの大会。今までやってきた努力が結果として表れるものとなっている。日々努力を重ねている選手達。彼ら、彼女等のことを知ってしまっただけで生きたら、私達も今を全力で生き抜いていきたい。



インターハイTV

POCARI SWEAT

全国高体連公式  
インターハイ応援サイト

← 試合の様子やライブ映像も閲覧可能です！



# 福岡とびうめ応援レター部

## ～福岡STUDENT-REPORTERS～



### 本田 桜二郎選手

令和6年7月28日に博多の森陸上競技場で、男子1500メートル競技が開催された。そこで私達とびうめ応援レター部は、大牟田高校の本田選手取材した。気温が35度を上回る非常に暑い環境の中、気温以上に、アツイ試合が繰り広げられた。

半周を通過した時点では5位であった本田選手でしたが、徐々に追い上げていき、3周目では3位と大きく差をつけ、2位で予選を突破した。

見ている私達としても約4分といった時間が一瞬のように感じられ、とても心が動かされた。



本田 桜二郎選手

#### Q 準決勝が決まりました。今の気持ちを教えてください。

A 去年、北九州大会では予選で敗退しました。今回、インターハイに出場することはできましたが、それだけでは終わりがたくないというのがあって、出場するからには入賞を狙っていきたいです。去年の谷本さん(1500メートル優勝選手)の優勝した走りをベンチで見て感化され、今回の舞台で自分の成長に繋げていきたいです。

#### Q 1500メートル競技の面白さを教えてください。

A 短すぎず、長すぎずということですかね。する側にとっても、見る側にとっても飽きないような種目になっていると思います。

#### Q 最後に今後の目標について、教えてください。

A まだ、2年生ということで来年がありますが、そういうことを考えていると今年が疎かになってしまうので、これが一度きりという想いを持って臨んでいます。



現地スタッフ 引率教諭 川原 佑里佳(久留米筑水)  
富田川 慧(朝倉光陽)

担当生徒 秋田 柊羽(八幡) 鈴木 直将(春日) 橋口 芽依(宗像)  
松岡 結愛(飯塚) 藤井 沙朱(小都) 樋口 美央(春日)

配信元 福岡県高等学校体育連盟 TEL092-621-9394 FAX092-621-9431

Mail [info@fukuoka-koutairen.jp](mailto:info@fukuoka-koutairen.jp)

<http://fukuoka-koutairen.com>